

第27回 多可町子ども・子育て会議 記録

日時	令和4年9月26日(月) 15:00~16:45
場所	多可町役場 特別会議室
参加者	<p>●委員</p> <p>出席：鈴木会長、宮田委員、足立陽委員、安武委員 足立德委員、清水谷委員、藤本委員、原委員 松田委員、松本委員、藤原委員、岡本委員</p> <p>欠席：仲田副会長、寺澤委員、高橋委員</p> <p>●事務局</p> <p>越川教育長 こども未来課：市位課長、高橋</p>
会議内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 会長あいさつ 3. 報告事項 <ol style="list-style-type: none"> 1) 令和3年度子ども・子育て支援事業計画の実績の点検・評価について 4. 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> 1) 医療的ケア児保育支援事業について 2) 子ども・子育てコンシェルジュのサポーター制度について 3) 放課後児童クラブ利用料について 5. 事務連絡 6. 閉会
資料	・第27多可町子ども・子育て会議資料

1. 開会

【事務局】

皆様こんにちは。ただいまから「令和4年度第2回目、通算では第27回目の子ども・子育て会議」を開会させていただきます。

2. 会長あいさつ

【会長】

皆様こんにちは。だいぶ秋めいてきていて、気持ちよく過ごされているかと思います。また、今日は2回目の子ども・子育て会議ということで、ご協力の方、よろしくお祈いします。

3. 報告事項

1) 令和3年度子ども・子育て支援事業計画の実績の点検・評価について

【事務局】(別紙により説明)

【会長】

ありがとうございました。色々増えたり減ったりということで、計画に見直しが必要なところが出てきたということですね。今のご報告に関しまして、ご意見・質問等ありましたらお願いします。

－ 特になし －

【会長】

1号が結構多かったんですかね。

【委員】

満3歳だと思います。

【会長】

満3歳になられて幼稚園部に入りたいという方が多かったということですね。

【委員】

それと新2号といわれる分が多いので、幼稚園部になられた方は、そのまま残られる方が多いと思います。

【会長】

気になるのは、3号の方がガクッと減っているということですね。これはまた数字を見てということですね。

【事務局】

はい、11月には数字を見直したものをお示ししますので、ご検討いただきたいと思っています。

【会長】

提供できる分が余っているのは良いんですけど、まだそこまではいかないですね。あとは、ファミサポ事業がちょっとという感じですね。

【事務局】

そうですね。

【会長】

時期柄仕方ないので、ここは減らしても良いのかなと思います。それでは、また次回の時に検討していただくということによろしいでしょうか。

【事務局】

はい、お願いします。

【会長】

また、何かありましたら、その都度聞いていただければと思います。

4. 協議事項

1) 医療的ケア児保育支援事業について

【事務局】(別紙により説明)

【会長】

医療的なケアが必要な子どもさんを受け入れることが可能ですかということですね。その場合の補助金はこのような内容になるそうですが、園さんとしてはいかがでしょうか。

【委員】

補助金の基準に「基本分」と「加算分」がありますが、受け入れの準備として研修だけを受ける場合、「加算分」だけを交付してもらえるのでしょうか。

【事務局】

今、県と調整中ですが、4月1日から始めようと思えば、年度内に研修に行っていて技術を習得していただく必要がありますので、研修の分についてはたぶん補助が出ると思います。また、担当が確認させていただきます。

【委員】

それは、受け入れの見込み、前提があつてということですか。それとも受け入れることがあるかもしれないので、人員を育てていくということで研修することについても想定されているということですか。

【事務局】

おそらく、それも含めていけると思いますが、確証したものが現時点ではありませんので、そこは確認させていただきたいと思っています。もし、それも含めていけるといふことになれば、検討いただければと思います。

【会長】

事前に研修を受けて、準備態勢がとれるかという判断をすることも必要かもしれないので、知っていないとイエスと言えないこともありますよね。できれば町で、全体で皆さん知識をもたれたなかでの制度となればいいかなと思います。

【委員】

施設としては、先程の園長会でも話があつたように事故の確率が高くなる訳で、それに対する責任問題も出てくると思うので、そのリスクを考えると非常に躊躇してしまうというのが正直なところです。

【会長】

管理のおよばないところで、病状のことで亡くなる可能性もあるので、その線が引ければ分かり易いのですが、そこが難しいところですね。

【委員】

この研修を受けて、受け入れる担当の職員が「あなたです」となったときに、最初のお子さんを受け入れて対応はするけれども、万が一のことがあつたときにその職員が受け

るリスクをどうやって守ってあげるかということが1番。補助金がいただけたとしてもお金に代えられない責任というものがあるので、看護師として勤務してきた方ではないので。今、言われたみたいに準備だけを整えるために研修受けたとして、実際に対象となるお子さんがおられたときに、研修を受けられたのだから受け入れることが前提ですよということなのか、そのときの園の状況によっては職員の配置等の関係で受け入れられないこともあるかもしれないので、色々なシミュレーションもやっておかないといけないなと思います。今、既にやっておられるところで、問題点などはないのかとか、こういうことも保育施設としての役割として担う責任がありますということなのか、ということも含めて実際にする前に検討しておかないといけないのではないかと思います。実際に自園で受け入れるとなると躊躇するかなと思います。ただ、そのお子さんを見たときには、保護者の方と一緒に集団生活をさせてあげたいという気持ちも分かりますし。

【委員】

どのくらいの医療ケアが必要な子どもなのかイメージができないので、看護師が配置できないから、保育士に研修してもらってというのはある意味、乱暴かなと感じています。それだったら、看護師を町で探していただいて園の環境を提供し、一緒に集団生活を楽しんでいただくという道筋に決定していただいたら、私たちも心強いかなと感じました。

【委員】

本当に命を預かるので、受け入れる側もすごく責任があると思います。こういう研修を受けるとしても自分が今いる保育士のなかで、私がこういったことをやりたいですよという職員がいれば研修を受ければ良いと思うのですが、私があなた受けてくださいねと言う場合、すごく責任があつての研修だと思うので、そこもなかなか難しいところかなと思います。医療的なことがあるので、看護師さんを園で探すというのは難しいところがあるので、行政で探していただくなど、受け入れるとなれば必要なことかなと思います。

【事務局】

先程、園長会でもありましたように近隣の状況をお伝えします。西脇市はされていません。加東市も現在はされていないということです。糖尿病Ⅰ型の方がおられたそうですが、お母さんが園の近くに就職され、注射に行かれていたそうです。以前は公立の方で看護師を雇われていたそうですが、今はいらっしゃらないようです。加西市もなし、小野市もなしです。三木市はあるのですが、担当者が不在で詳しいことは聞いていません。丹波市につきましては3名受け入れられています。全て看護師を配置されています。胃瘻、吸痰、インシュリンの注射ということです。市川町、神河町もなしです。加古川市はありと聞いています。北播磨では、三木市が受け入れられておられるぐらいということです。

【会長】

レベルによってかなり違ってきます。知っているところで、看護師を配置されたのですが、かなり重度なお子さんで、日々かなりの緊張感のなか対応されていたようです。このため、看護師さんがつぶれてしまったということがありました。1人でしたので、2人体

制にしようかということも検討されていて。本当にケースによって1人つけてと一辺倒なことでは対応できない可能性もあります。本当に場合によっては医療機関で対応された方が良いということもあります。とにかく命が関わってくることなので、どんな状態で受け入れるか、どんなケースがあるのかという判断材料としての研修は良いと思うのですが、その方が担当される前提でというのはちょっと難しいと思います。町で、みんなで勉強会というかたちで研修会と一度やられていても良いのではないかと思います。それで皆さん、判断されたりすれば良いのではないかと。生死をさまようような方もいらっしゃいますので、そのような場合は園としてもお断りされても良いのではないかと思います。情報がなかで皆さんにどうですかということのも酷かなと思います。

【事務局】

兵庫県からもどうですかということもあり、一度皆さんのご意見を伺いたいと思いついて、今回このような場をもたせていただきました。こども未来課でも再度、検討いたしまして今後の課題としておきたいと思いつきます。

【会長】

姿勢と準備はした方が良いとは思いつます。先程お話ししたように、皆さんでの勉強会は必要かなと思いつます。じっくり検討いたついで、制度をつくつておくことは大事かと思いつますので、どこまでだつたら受け入れられるかという条件も設けて制度をつくるのが良いかなと思いつます。

【事務局】

加古川市や三田市がガイドラインを作成中ですので、そのあたりも伺いながら検討したいと思いつます。

3) 子育てコンシェルジュのサポーター制度について

【事務局】 (別紙により説明)

【会長】

主に転入される方ですかね。

【委員】

そうですね。

【会長】

多可町の子育て支援のことが分からない方へのサポートということですね。

【委員】

そういうのはまだ相談を受けたことはありませんね。ただ、子どもが少ないなかで、そういう相談があつた場合にパンフレット等でPRすることは大切ですね。

【会長】

同世代の方が、こういった形でサポーターしていただく方がなんとなく入りやすい雰囲気かなと思いつますね。保護者の方々はいかがでしょうか。

【委員】

思ったのが、手続きとかするときに転入者の方にチラシを渡してということだったかと思うんですが、積極的な方ならそれを見て申し込まれると思いますが、自分から1歩踏み出せない人もいると思うので、別のアプローチというか、こういうのがあるよとチラシだけではない何かがあれば利用し易いというか、1歩踏み出し易いのかなと思いました。

【会長】

制度自体は良いけれども、呼び掛け方を工夫されてはどうかということですね。

【委員】

転入者の方は、希望して来てたり、何か理由があって来てたりされていると思うので、来られる前に多可町のことを調べたりされていると思います。今だとSNSなどを利用される方が多いと思うので、そういったものを活用してPRするとかされたら周知できるのではないかなと思います。

【委員】

今も話がありましたが、お母さんグループ、ママ友グループの情報量は本当にすごいと思います。こんな制度があるよとか、こんな補助金があるよとか、そういう話をよく聞くので、ママサポーターバンクというグループの情報量を大事にしてほしいなと思いますね。

【委員】

チラシややり方を工夫していきたいと思います。

【委員】

サポーターの方も色々な方がおられると思いますので、利用者の合う合わないもあると思います。だから、マッチングも大切かなと思います。

【委員】

1対1でなくてもいいかなとは思っています。そのあたりも検討していきたいと思います。

4) 放課後児童クラブ利用料について

【事務局】 (別紙により説明)

【会長】

就労しているとはいえ、好きで就労しているわけでもなく、余裕を持って就労しているわけでもないと思いますので、そのへんの状況はいかがですかね。就労の状況とかご存じだったりしますか。

【委員】

想像が付きません。今、学童があるからよけいだろうけど、地域で子どもを見るのが全然ない。実際、こういう会議でも女性に参加してもらう方がいいのでは。我々は行事ごと、三世代交流とかなければ子どもを見ることがない。どこの子かもすら分からない。実

際に関わる女性の方に参加してもらいたいと思います。

【会長】

色々な声をということですね。また、事務局で検討してもらいましょう。

【委員】

利用料のことにつきましては特段ありません。子育てするならダントツ多可町と言っているのなら、高くない方がいいのかなとは思いますが。中身が必要かなとは思いますがね。ただ預けてるだけなのか、指導員の育成とかは必要かなとは思いますが。

【会長】

まあ、安けりゃいいってもんでもないんですけど、安いにこしたことはないということも1つあるんですね。質の向上というか、そういうことを考えていくということは必要かと思っています。他市町と比べても飛び抜けて安いわけでもなく、高いわけでもないの、現行でいいのではないかなと思いますね。保護者の方はいかがですか。

【委員】

学童を利用していませんし、中身も分かっていないので、感覚的に安いのか高いのは、正直分かりません。下の子ども来年から小学校ですが、家で見られるので行かすことはないと思います。ただ、使っている友達とか知っている方の話を聞いたりすると、高いと言われる方もいるし、別に高いと思われていない方もいて、それぞれだと思います。個人的に思うのは、内容が良ければ、別に高くても塾に行かすことを思えば、安いのではないかなと思います。毎日のことだし。

【委員】

学童に行かされている方というのは共働きだったりして家で見られない人なんですよね。だったら、あまり高かったら、生活のために共働きされているのに、共働きの意味がないというか。安い方が理にかなってると思います。学童の費用を稼ぐために働くというのもへんですし。

【委員】

うちは夏休みや冬休みの長期を利用しています。特に高いとも感じていませんが、知り合いに1人親の方とかもいて、それを一律上げてしまうというのはどうかなと思いました。

【会長】

確かに2人で働いておられたら何とかなったとしても、1人で育てておられる方には少しの値上げであっても大きく響きますよね。

【委員】

1人親の方に対して減免などはないの。

【事務局】

保育はあるんですけど、学童はありません。おっしゃるとおりだと思います。

【会長】

払えるところにしてはそうなのかもしれませんが、減免がないのであれば、今でも大変なところを、ちょっと厳しいですね。値上げは難しいとお返ししてもいいのですか。

【事務局】

この会議で議論いただいて、その結果を報告させていただきたいと思っています。

【会長】

コロナ禍の収入減、1人親家庭の負担などのご意見が出て、現状維持といいますか、少しでも安い方がよいということで回答しようと思いますがよろしいでしょうか。

【全員】

異議なし。

【委員】

少し話は変わりますが、学童のあり方、目的も変わってくるのかなと思います。子どもが減ってきていて、先程お話しにもあったように地域にいても子どもがいない。だから、学童に行くことで集団で遊べて、集団生活ができるということもあります。だから、そういう意味での学童のあり方も検討が必要かなと思います。

【会長】

大事なことです。利用料の話ではありましたが、質の話であったり、就労に関わらない学童のあり方。もっと予算もつけて欲しいということになるかもですね。

【事務局】

研修については年に2～3回実施しています。ただ、研修を受けたから良いというものでもなく実務のなかで活かされているかということになりますが。今後も質の向上を図っていききたいと思います。

5. その他

1) 次回の会議開催予定 第28回子ども・子育て会議

日 時 令和4年11月29日(火) 15:00から予定
場 所 多可町役場3階 特別会議室

6. 閉会

【教育長】

この会議は子ども・子育て支援法第77条に市町で進める子育てに関する大事なことは、子ども・子育て会議で審議いただいて前に進めていきなさいよということで開かれている会議でございます。本日も色々な提案をさせていただきました。子育てをされている保護者の方々の声をもとにそれを何とか施策に反映させていきたいという思いで今回上

げさせていただきました。事務局では気づかなかった色々なご意見を頂戴しましたので、その意見をもう一度精査しまして、さらに子育て支援を進めて参りたいと思います。次回は11月ということで、来年度の予算編成に皆さんのお声を反映させていきたいという思いで、この時期に開催させていただくものです。本日は本当に貴重なご意見を数多くお寄せいただきましてありがとうございました。本日はこれで終了させていただきます。